

contents

学長就任にあたっての抱負 学長 池上国広
 入学・進学した皆さんから
 新スタッフ紹介
 1年生フォーラム研修旅行
 潮流下対応可能な新型海中ロボット 開発中
 「長崎県知事「将来設計フォーラム」特別講演
 留学生寮「国際和親寮」の開設
 OB 鈴木冬一選手 U-20ワールドカップで活躍
 ヨット部OB+現役チーム 全日本大会で優勝
 NiASプロジェクト「高機ドローン」準備中
 ホームページリニューアル
 未来創造寄付金
 平成30年度(2018年度)法人の財務状況
 附属高校ニュース
 話・題・人
 波佐見陶器市 in NiASスタッフ
 Information

Information



資料請求
受付中

大学案内パンフレット発行!

長崎総合科学大学の2020年度入学者用の大学案内パンフレットと学生募集要項が完成しました。パンフレットは「大学案内」のほか、概要を紹介した「ダイジェストガイド」の2種類があります。お気軽に資料をご請求ください。

◎詳細は入試課または
 大学ホームページ <https://nias.ac.jp/>まで

お問い合わせ先 ☎0120-801-253
 E-mail adm@nias.ac.jp

学費サポート制度(特待生制度・優待生制度)

特待生 A1 授業料を全額免除(4年間)

国立大学よりも学費が安い
 ※成績不良等で取り消し有
 センター試験利用入試または一般入試(1期・2期)にて選考 対象 学力・人物の優秀な者

特待生 A2 授業料半額免除(4年間)

※成績不良等で取り消し有
 センター試験利用入試または一般入試(1期・2期)にて選考 対象 学力・人物の優秀な者

特待生 B 授業料半額免除(4年間)

※成績不良等で取り消し有
 AO特待生入試にて選考 対象 次のいずれかに該当する者
 ①高度な特技・資格を有し、それを本学で発揮しようとする者
 ②各種コンテストやスポーツ・文化活動等で優秀な成績を収め、本学でその能力をさらに伸ばし発揮しようとする者
 ③本学主催「高校生アイデアコンテスト」で優秀賞以上を受賞した者

外国人留学生入試(前期)にて選考
 対象 日本留学試験の日本語250/400点程度。数学の成績も合わせて総合的に判定する。

在学生の優待制度

3年生または4年生で学力および人格が優れた者に対して授業料を免除します。3年生は2年次までの成績、4年生は3年次までの成績が選考対象となります。(3年次で優待生に採用された者も、4年次には再度選考となります)

入試日程

入試区分	出願期間	試験日
AO入試 AO特待生入試	9/1(日)~3/23(月) 必修	随時
一般推薦入試[前期] 専門高校・総合学科推薦入試	11/1(金)~11/11(月) 必修	11/17(日)
一般推薦入試[後期]	11/27(水)~12/4(水) 必修	12/8(日)
一般入試	I期 1/8(水)~1/31(金) 必修	2/8(土)・2/9(日)
	II期 2/15(土)~3/9(月) 必修	3/13(金)
	III期 3/15(日)~3/23(月) 必修	3/25(水)
大学入試センター 試験利用入試	I期 1/8(水)~2/6(木) 必修	※本学での 個別試験は 課しません
	II期 2/15(土)~3/11(水) 必修	
	III期 3/15(日)~3/25(水) 必修	

きわめる。拓く。創り出す。

NiAS 長崎総合科学大学

※NiAS(ニアス)は、大学の英文名
 Nagasaki Institute of Applied Scienceの略称です。

長崎総合科学大学「Facebook」&「LINE」! 大学の様々な情報を配信しています。ぜひ、ご登録ください。

f <https://www.facebook.com/nias.ac.jp>

LINE @nias

SNSでも情報発信中

本学サイトに
アクセスできます。



ニアス NiASセミナー 豊富なメニュー

出前講義、体験学習
申込受付中

本学では、大学教員が高校などに出向していく出前講義「NiASセミナー」を実施しています。生徒の皆さんに大学講義の雰囲気を感じていただき、さらに日常の授業では体験できない、より専門的な内容や最新の研究成果などについて、わかりやすくお話しするものです。



体験学習

多彩なプログラム

高校におけるキャリア教育、進路指導の一環として、本学の施設・設備を利用した学習プログラムを準備しています。



オープンキャンパス2019

OPEN CAMPUS

7.21日 8.4日 9.16日 月祝

時間 10:30~14:30(受付10:00~)

場所 長崎総合科学大学



学長就任にあたっての抱負



風通しよく

この度、図らずも伝統ある長崎総合科学大学の学長を仰せつかり、その重責に身の引き締まる思いです。大学運営では、教職員の皆さん全員のご理解とご協力を得て、一致団結してあたることが重要であり、そのために大学全体が意思の疎通が図れる、風通しのよい明るい組織にすることを心掛けたと考えています。

本学が置かれている厳しい状況の中で、第一に取り組むべきは「募集対策」です。財政基盤を安定させ、教育・研究の活性化に取り組むためにも、入学定員を充足させるための努力を続けることが最重要と考えます。

次に取り組むべきは、「地域貢献」です。今や国家的課題となった地方創生への取り組みで、モノづくりを重視する本学に対する期待はますます大

きくなっています。地域に開かれた大学として地域の課題解決に貢献していきたいと考えます。

大学の主要な使命は教育・研究であり、「教育の質の向上」と「研究の活性化」に取り組みます。

教育・研究の改革には、まずは、本学の役割・機能を明確にすることが必要です。教育においては、小規模校のメリットを十二分に生かし、学生一人ひとりに寄り添ったきめ細かい教育を展開し、基礎学力をしっかりと身に付け、課題に柔軟に対応できる

学生を社会に送り出したいと考えます。その他にも、認証評価の受審、学部・学科の組織改革、大学間の連携構築等々、検討課題は山積していますが、微力ながら全力で頑張る決意ですので、重ねて皆様方の特段のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

池上 国広(いけがみくにひろ) / ◎趣味: コーラス、ゴルフ ◎抱負: 大学運営、大学改革に皆さんと力を合わせて全力投球!

入学・進学した皆さんから

大学へ進学



工学部工学科 建築学コース
ブー ディン トン
VU DINH TUNGさん

ベトナムから1年前に来て本学の別科日本語研修課程で学んだ後、この春、学部の建築学コースに進学しました。大学まで進むことは母国にいるときから計画していたことでした。留学先を日本にしたのは、ベトナムにいるときにインターネットで日本について調べ、その技術力の高さに驚いていたからです。大学を卒業したら一旦日本の会社に就職をし、その後ベトナムに帰って力を尽くすのが私の夢です。

別科日本語研修課程から
大学へ進学



大学院へ進学



工学研究科 修士課程 電子情報学専攻

こが やすゆき
古賀 泰之さん

従前から「大学院にいかないか」と先生から声かけをいただいていた。進学を確実に決めたのは4年生当初の説明会です。実社会で通用する力を付けたいと思ったことと、生涯年取等のことを考えて決めました。大学院は学習が大変になりますが、メリットも大きいと先生から聞いています。大学院では、学部の時以上に研究に励むつもりです。昨年度、電子情報通信学会九州支部学生会講演奨励賞を受賞し大変励みになりました。これからも少しでも多く学会で発表したいと考えています。

新スタッフ紹介 今年度、新たにスタッフとなった教職員を紹介します。

◎所属 ◎趣味・特技 ◎抱負など一言



ふじはら
あきひろ
藤原 章

◎総合情報学部総合情報学科
マネジメント工学コース 准教授
◎ダンス、エアロビクス、筋トレ
◎経営戦略を研究しています。一緒にビジネスモデルを創造しましょう。



ふじた
けんいち
藤田 謙一

◎工学部工学科 建築学コース 准教授
◎写真撮影、鳥巡り、読書
◎海を活用する建築と自然災害に対する防災に関する研究を進めています。何にでも興味を持って前向きに取り組んでください。



はしもと
ひろこ
橋本 彼路子

◎工学部工学科 建築学コース 教授
◎絵画作成と鑑賞、音楽鑑賞、水泳
◎地域に根ざす建築物と住まいを学生さんと共に考えていきたいと思っています。



かわがuchi
たもつ
川口 保

◎工学部工学科 船舶工学コース
◎野球、観葉植物の育成
◎約40年間の造船所勤務で得たノウハウを活かし、将来造船所などに就く学生に物造りの良さを伝えていきたいです。



いのう
たかし
井俣 剛志

◎教務課
◎スポーツ全般
◎皆様のご支援ができるよう、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



ほりかわ
しんじ
堀川 敏彦

◎高校 常勤講師
◎相撲に関する資料収集(最近は怠り気味です)。変わりゆく長崎の街を撮影してまわること。
◎長崎商業高校を定年退職後10年以上経過しましたが、思いがけないご縁ができた大変嬉しいです。生徒の皆さんの若さに負けないよう頑張ります。

マネジメント工学コース

本年の新入生研修旅行は北九州市の支援を頂いて、1泊2日の研修でした。最初に見学した北九州市の創業支援型ワーキングスペースCOMPASS小倉では、起業家の大学時代や起業当初の苦労話などに聞き入っていました。またグループに分かれて、起業家と直接話す機会もありました。次に見学した物流センターでは社員全員が私たちを迎えてくれました。会社内の各施設だけでなく事務所内も見学させていただきました。また社長から、会社の経営理念やこれまでに行ってきた大きな経営判断などを伺い、学生には大きな刺激になりました。最後に訪れた北九州市エコタウンセンターでは最先端のエネルギー施設を見学し、巨大な風力発電施設の迫力に圧倒されました。



医療工学コース

医療工学コースでは5月10日からの2日間、研修旅行でシーボルト記念館と野母崎・Alega軍艦島に行きました。特別講演をご講演頂いた谷山鉦太郎名誉教授を含む教員と新入生が参加致しました。シーボルト記念館では、日本人に西洋医学を教えたシーボルトの生涯について学び、使用されていた手術器具などの展示品を鑑賞することで、医療人としての心構えについて学びました。その後、樺島の大ウナギ井戸など野母崎観光を行い、Alega軍艦島に宿泊し、教員及び学生全員で自己紹介するなどし親睦を深めました。これから4年間の学生生活の中でも思いで深い日になったと思います。



建築学コース

2019年10月に開館する新長崎県立図書館(ミライオン図書館、大村市)は、本学建築学科卒業生の建築家佐々木信明氏が設計したものです。今年の研修旅行は、オープン前の図書館を、佐々木氏自身に案内頂きました。閲覧室はもちろん、180万冊収蔵の書庫や屋上の設備まで見る事ができました。憧れの先輩を通じて、新入生は建築の仕事や、自分の将来像を描くことにつながりました。研修は、九州陶磁文化館(1980、日本建築学会賞受賞、佐賀県有田町)、有田街並み散策(国伝統的建造物群保存地区)、旧波佐見町立中央小学校講堂兼公会堂(1930、2018耐震補強工事終了、国登録有形文化財、長崎県波佐見町)も見学しました。現代建築から歴史的建造物、そして街並みまで、建築に十分に親しむことができました。



船舶工学コース

5月10日、船舶工学コースの新入生歓迎研修旅行は、熊本への船旅に出掛け、ジャパン マリンユナイテッド株式会社有明事業所(熊本県玉名郡長洲町)を見学してきました。有明海に面した造船業界屈指の造船所で、広大な敷地に建造ドック2基、大型ゴライアスクリーンを備え、合理的な工場レイアウトのもと、VLCCを始めとする大型船舶や大型海洋構造物を建造しています。新入生達は、工場と建造船のスケールの大きさに驚いた様子でした。なお、往きと帰りは別航路で、往路は熊本フェリー(高速の超細長双胴船(SSTH)オーシャンアロー:30分)、帰路は有明フェリー(45分)に乗船し、東の間の有明海クルージングも満喫しました。



生命環境工学コース

生命環境工学コースの研修先は環境モデル都市である北九州市内の企業です。TOTOミュージアムでは、生活に必要な衛生器具(便器・洗面器等)が日本国内での普及していった経緯と、使用する水の節水技術の進化について実機で学びました。シャボン玉石けん株式会社では、合成洗剤と石けんの違いを学びました。特に石けんを作るには化学的なけん化反応と塩析作業について説明を受け、人に対してアレルギーや赤ちゃんなど皮膚がデリケートな人でも使用できる石けんについて学生たちは大いに興味を持っていたようです。



知能情報コース

1年生フォーラム研修旅行は、1泊2日で次の3箇所を訪問しました。1日目が安川電機ロボット村、2日目は他コースと共にTOTOミュージアムと北九州エコタウン。いずれも北九州市を所在地とする企業及び施設です。安川電機は国内外の産業用ロボット市場をリードしてきた企業。ロボット村では「ロボットがロボットを作る工場」や、草創期からこれまでのモノづくりの歴史を伝える歴史館などを見学しました。TOTOミュージアムでは水まわりの文化や歴史そして同社製品の進化を学び、北九州エコタウンではリサイクルや循環型社会などを学んできました。いずれもこれからの学習の動機づけになってくれる優れた訪問地でした。



電気電子工学コース

5月10~11日、電気電子工学コースは北九州市の施設見学に出かけました。1日目が九州電力新小倉発電所と三井ハイテック、2日目がシャボン玉石けんとエコタウン・次世代エネルギーパークです。新小倉発電所は、九州電力では初めてのLNG専焼の火力発電所で、コンピュータによる各施設の自動化が進んでいました。三井ハイテックは超精密加工技術、超高精度な金型技術を誇る開発型ものづくり企業です。シャボン玉石けんは環境にやさしい無添加石鹸の製造をおこなうメーカー。エコタウン・次世代エネルギーパークは、リサイクルや循環型社会そして様々なエネルギーについて学べる施設でした。各企業・施設ともハイテク化が進むと同時に現代社会に正面から向かいあった訪問先でした。



機械工学コース

5月10日に新入生が研修旅行で、九州電力の玄海原子力発電所と松浦火力発電所に行きました。発電所の現場で多く使用されている機械部品や原子力と火力発電の仕組みを理解し、また原子力事故からの幾重もの対策方法を学びました。見学後、ハウステンボスにおいて夕食をとりながらフォーラムを実施し、大学生活の過ごし方や学び方を教員と一緒に考えました。



長崎県知事 「将来設計フォーラム」特別講演

4月26日、長崎県知事 中村法道 氏に本学の「第2回将来設計フォーラム」の特別講師としてご講演いただきました。演題は『人口減少と県内定着について～長崎県の「地方創生」～』。会場の3号館6階大講義室は、詰めかけた学生と教職員によって熱気に包まれました。

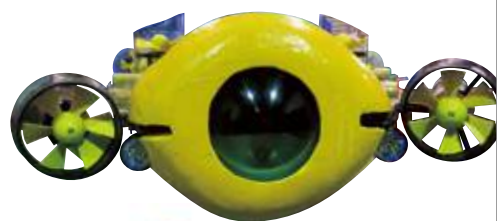
人口減少と県内定着について
～長崎県の「地方創生」～



【講話の概要】
このままで推移すればわが国の人口は2110年に4286万人に減少。交通利便性、買い物アクセス、医療・福祉サービスの低下等が懸念される。長崎県人口ビジョンで2060年に100万人程度の人口水準確保を目指す。
本県は年約5〜6千人の転出超過が常態化し、その大半を若年層が占める。第一に、しこりを創り、育てる。第二に、まちを創り、支えあう。第三に、ひとを創り、活かす。この循環で2040年に社会移動を均衡させたい。
大学生の県内就職促進のためには、早い段階から学生と県内企業との直接交流を図り、県外進学者への県内就職促進、企業の魅力向上に努めたい。奨学金変換アシスト事業も実施中だ。



潮流下対応可能な 新型海中ロボット 開発中！



一昨年度から戦略的研究予算（フロンディング分野）により、学内で「潮流下稼働用海中ロボット」プロジェクトを結成し、修士論文1件と3件の卒業研究のテーマで研究開発を進めてきました。第一段階として今年1月12日に本学船舶海洋試験水槽で進水。この海中ロボットは、世界でも珍しい強潮流下において海中観測や作業を行うことができる海中ロボットで、海洋エネルギー機器経費の3割から4割を占める設置経費や保守点検や観測調査費を大幅に軽減し、社会的受容性を向上させる事ができます。研究計画として前年度までに、水流下ラスト性能試験、カウルの設計製作、カウル有無による抵抗試験実施後、ROV各種電子機器搭載し運動制御プログラムを開発し、写真に示すように水槽にてROV稼働試験に成功しました。この成果を6月の日本船舶海洋工学会にて発表しました。今年度は、水槽試験を行いながらこの制御プログラムの調整し、潮流下で珍しい中間ランチャを考案し設計製作を行います。最終的には実海域にて潮流下で可能な観測実験を目指しています。



留学生寮 「国際和親寮」の開設

本学留学生寮「国際和親寮」が県営バス矢上営業所近くに開設され、開寮式が4月8日、長崎県文化観光国際部国際課長 永橋勝巳様のご臨席のもと開催されました。
留学生寮は、長崎県の職員公舎を借用した鉄筋コンクリート4階建てで、2019年度は10室を改修して9室を留学生用、1室を留学生サポーター役の日本人学生であるレジデントアシスタント用として利用。定員は原則として1室2人で18人。現在、別科日本語研修課程の学生と附属高校の生徒が入居しています。国別ではインド10人、中国3人、韓国2人、メキシコ1人、ケニア1人。
開寮式では、永橋勝巳様から祝辞を賜り、立石理事長及び池上学長から長崎県への謝辞と、留学生の有意義な学生生活を期待する旨の挨拶、そして寮生を代表し陳璐さん（中国）から、今後の寮生活と学生生活への期待を込めた挨拶がありました。



「長崎帆船まつり」に イベント参加

船舶工学コースの二年生から四年生までの有志が海洋教育推進活動として、長崎水辺の森公園で開催された「2019長崎帆船まつり」に今年もイベント参加しました。第20回目となった今回は、昨年度よりも3隻多い国内外の帆船6隻が参加し、内3隻が全長100メートルを超す大型帆船で、その雄姿を岸壁に横たえました。開催期間中は好天に恵まれ、22万人を超える来場者があり、会場の長崎水辺の森公園は大変な混雑でした。

本学のイベントブースは会場の中央に位置し、船のパークラフトと風力発電装置の工作教室、船舶模型の展示、そしてミラジコン潜水艦の操縦体験を実施。3日間とも大変な盛況で、多くの親子連れで賑わいました。
また日が落ちてからは、「デジタル水族館」と題して、海に泳ぐ様々な生き物を水辺の森公園の芝生にプロジェクションマッピングにより投影。子供達が夢中で楽しんでいました。

OB 鈴木冬一選手 U-20ワールドカップで活躍



今春、長崎総合科学大学附属高校からJリーグ湘南ベルマーレに入団し、プロとして活躍する鈴木冬一選手。この5月6月に、ポーランドで開催されたFIFA U-20ワールドカップに日本代表として出場し活躍しました。これは20歳以下の国内メンバー22名に選出されるという快挙です。

高校時代の恩師である小嶺監督は次のようにコメントを寄せてくれました。「喜ばしい限りです。こうした経験を積み重ねて、Jリーガーとして大きく羽ばたいてくれることを期待しています」。

ホームページリニューアル



2月末に本学ホームページをリニューアルいたしました。リニューアルに伴う主な特徴は以下のとおりです。

- パソコン、モバイル等ともに対応するホームページへの移行
- ナビゲーションの常時表示など、より分かりやすく使いやすいデザイン化
- SSL(通信の暗号化)対応

これによりスマートフォンから閲覧した場合に、これまでに比べ情報量が増大することとなりました。また事前に若者層に意見を求めるホームページ学生公聴会を開催し、活き活きとした意見を取り入れることに努めました。

学校法人 長崎総合科学大学 未来創造寄付金 ご寄付を賜り、深く感謝いたします。(平成30年5月1日から平成31年4月30日まで掲載)

《個人寄付者》 敬称省略

相川 一洋	亀井 守正	下高 修二	玉城 仁秀	橋本 栄治	細川 昭夫	南 正義
有田 京子	岸川 良治	慎 燦益	玉本 亮	林田 輝雄	本実 慈朗	村上 健夫
飯田 猛	北脇 良憲	鈴木 智夫	辻 秀一	林 行彦	本間 太将	本村 政勝
石丸 重人	久富 保則	十河 秀好	鶴 博行	羽山 潤一郎	牧島 千鶴	山口 和勇
石丸 雅文	久保 一雄	高橋 真司	恒屋 礼二郎	川原 弘	松本 和徳	山下 英明
石山 茂	久保 治也	高橋 敏彦	寺田 泰治	日比野 正己	松元 孝市	吉田 勝久
井手 雅人	古賀 達也	高藤 敏明	土井 六郎	平山 慶	松本 正人	脇山 祐介
入江 誠	齋藤 俊一	辰野 博文	中犀 光啓	福田 和彦	丸林 靖幸	
浦川 良一	定行 洋	立石 暁	中村 秀樹	藤山 守人	御厨 巧司	
奥村 典男	寒川 忠則	田中 学	中村 好邦	古野 弘志	溝江 光弘	

《企業寄付者》 敬称省略

一般社団法人シルバービークジャパン
運上船舶工業株式会社
扇精光ホールディングス株式会社
株式会社ライト建築設計事務所
長崎総合科学大学関東地区同窓会
東長崎商会
有限会社佐原建設

寄付のお申し込みお問い合わせ
長崎総合科学大学 財務課 未来創造寄付金担当
TEL.095-839-3111(代表) FAX.095-839-0584
E-mail mkifu@NiAS.ac.jp

平成30年度(2018年度)法人の財務状況

事業活動収支計算書 平成29年4月1日～平成30年3月31日 (単位:百万円)

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金	1,175	人件費	1,067
手数料	10	教育研究経費	519
寄付金	17	管理経費	219
経常費等補助金	347	徴収不能額等	2
付随事業収入	161		
雑収入	69		
教育活動収入計	1,779	教育活動支出計	1,807
教育活動収支差額		△28	
受取利息・配当金	2	借入利息	3
その他の教育活動外収入	0	その他の教育活動外支出	0
教育活動外収入計	2	教育活動外支出計	3
教育活動外収支差額		△1	
経常収支差額		△29	
資産売却差額	0	資産処分差額	13
その他の特別収入	12	その他の特別支出	0
特別収入計	12	特別支出計	13
特別収支差額		△1	

貸借対照表 平成30年3月31日現在 (単位:百万円)

資産の部	
固定資産	8,317
有形固定資産	7,589
特定資産	717
その他の固定資産	11
流動資産	401
合計	8,718

負債の部	
固定負債	1,190
流動負債	505
合計	1,695

純資産の部	
基本金	12,999
繰越収支差額	△5,976
合計	7,023

※詳しい決算内容につきましてはホームページをご覧ください。



ヨット部OB+現役チーム 全日本大会で優勝

6月7日(金)～6月9日(日)、鹿児島県平川ヨットハーバーで第34回全日本スナイプマスターズ選手権が開催されました。この大会において、ヨット部OBで現監督の古賀誠次さんと現主将の船舶工学コース4年生皆川大地さんのチームが、Master Divクラスで見事優勝いたしました。なお、総合成績においても全クラスを通して、準優勝となりました。



NiASプロジェクト 「高機ドローン」準優勝

高機動の無人航空機開発プロジェクト「高機ドローン」のメンバーが3月に兵庫であったドローンレース大会(カイトコーポレーション主催)に出場し、電気電子工学コース4年生の谷川一成さんが準優勝、機械工学コース3年生の永田貴之さんがベスト8に入賞しました。出場したのはFPV部門。これはゴーグルを装着し、自作ドローンに装着したカメラから送られる映像を見ながら操縦して、時速150キロを超えることもあるスピードを競うレースでした。



※NiASプロジェクトとは、学生がプロジェクトを立ち上げ、大学が審査しサポートする。そんなチャレンジしたい夢を実現化できる本学のしくみです。



High school Information

附属高等学校ニュース

令和元年度入学式

4月6日に新入生106名を迎えて入学式を行いました。これからの高
校生活での活躍を期待します。

話・題・人

Close-up People

波佐見陶器市 in NiASスタッフのみなさん

波佐見陶器市 in NiASは挑戦だった。マネジメント工学コース 山路学研究室の私たちが主体となって、大学で陶器の販売を行った。大学デザインロゴ入りマグカップも作成。利益は大学へ寄付。少なくとも、大学ではほぼ初めての試みだった。研究室は地域活性化を研究テーマの一つとしている。その一環として取り組んだのが今回の取組だ。先生が地ならししてくださった舞台で、自分たちが陶器の生産について

て学び、接客し、売り上げに一喜一憂する。私たちの好きなリアルな場で生き活きと学ぶ。

販売が始まると、校内で面白そうなお話を聞いているからと、予想以上の方々が見に来てくれ、手に取り、その魅力に気づき、購入へと至る人が多かった。大変うれしいことだし、誇らしい瞬間でもあった。

長崎には天然のテーマパークがある。様々な天然資源もある。五島や対馬などの島々、新鮮な魚や野菜、他県には負けない魅力がある。ただ残念なことに、その

プレゼンテーションが下手すぎる。生かして切れない。ある人は、長崎は資源の宝庫というよりは、資源の倉庫になっているという。倉庫から出す努力をしなければならぬ。そのヒントが波佐見町にはある。波佐見焼は最近、若いデザイナーや海外からのデザイナーが集まり、陶器の新しい歴史を作っている。

今後は大学内での催し物として、長崎全体、九州全体、世界各国を対象としたいろいろなことをやりたいと考えている。



バレーボール部 「全九州総合選手権大会」 初出場

4月21日に諫早市中央体育館で行われた「県バレーボール総合選手権大会」3位決定戦で鎮西学院高校に勝利し、創部初の九州大会出場(5月11日県立総合体育館)を果たしました。また6月3日に行われた「県高校総体」においても第3位という成績を残しました。

野球部NHK杯 長崎地区大会初優勝

野球部が5月26日に県営野球場で行われた「NHK杯長崎地区大会」決勝戦で、海星高校に延長12回1対0で勝利し初優勝。また6月5日のNHK杯県大会でも準々決勝戦で、南山高校に勝利しベスト4進出を果たしました。夏の全国高校野球県大会での活躍が期待されます。

